

高血圧症通院者100名について 2009年から11年目の中断者と継続通院者にみる 診療内容の検討

西宮市・広川内科クリニック 広川 恵一（医師）

【共同研究者】 木村優美 大浦聖子 廣川秋子 渋谷淑子 藤田知子 広川江美子
杉本真知子 新井麻友 法田美津子 宮本京子

【目的】

高血圧者の通院に関わる経年的観察から慢性疾患診療の留意点について検討を行う。

【対象と方法】

2009年に任意抽出した高血圧症通院者の100名（男性38名・女性62名）から2020年3月～7月に継続通院の51名と通院中止の49名について、Ⅰ 通院者の降圧状況、Ⅱ 中止背景、Ⅲ 死因、Ⅳ 診療情報提供書作成状況とそれにみる通院者の併発症の実際から検討を行う。

【結果】

Ⅰ 継続の51名は男性16名60～89歳（平均76歳）、女性35名56～96歳（平均78歳）。平均血圧は男性126/72、女性127/71。140/90未満は51名中48名で94%。中止の49名は男性22名、女性27名。

Ⅱ 中止理由は中断4名、施設入所3名、紹介等転院11名、対象外2名、死亡30名。

Ⅲ 死亡30名は男性13名・女性17名で平均85歳。癌12名（肺癌3名、大腸癌・肝臓癌・膵臓癌2名、食道癌・胆嚢癌・骨髄腫各1名）：同82歳。心筋梗塞・心不全8名：同89歳。呼吸不全2名、腎不全1名：同85歳、老衰3名：同94歳。脳出血1名75歳。肺炎1名83歳。不詳（独居死）1名86歳。不詳（転院後）1名76歳。

Ⅳ 通院51名について診療情報提供書作成は2020年10月まで18名、19年10名、18年7名、17年3名、16年3名、15年2名、13年3名、12年1名、09年1名、作成なし3名。併発症は脂質異常症の33名をはじめとして、胃炎、脂肪肝、頸動脈疾患、糖尿病、胆嚢疾患、癌（胃癌・肺癌・甲状腺乳頭癌・膀胱癌・肝癌・骨肉腫・直腸癌・子宮癌・卵巣癌）、高尿酸血症、呼吸器疾患、食道疾患、脳血管疾患、冠動脈疾患、甲状腺疾患、慢性腎臓病ほか、前立腺疾患、整形外科的疾患、感覚器障害ほか。

【まとめ】

結果にみられるようにそれぞれのテーマから多くの課題が示された。日常診療は「これでいいのか」という自らへの問いかけの場である。通院と中断の背景はじめその検討は診療での意識付けとなる。診療情報提供書の見直しから様々な気づきが得られ来院者へのまなざしをより豊かにできることが期待できる。